

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2006-149778(P2006-149778A)

【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2006-023

【出願番号】特願2004-346386(P2004-346386)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 F

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を払出可能な払出手段を備えた遊技機において、

前記払出手段は、複数の払出手段を所定の被包部材内に一体的に備え、

前記各払出手段は、

当該払出手段の上流側から導入される遊技球を流下させ下流側へ導出できるよう構成された球払出通路と、

前記球払出通路に対応して設けられ、前記球払出通路内における遊技球の流下を制止する規制状態と、遊技球の流下を許容する規制解除状態とに切換り可能な停留手段と、

前記停留手段による遊技球の流下制止位置よりも下流側において前記球払出通路より分岐し、遊技球を外部へ導出できるよう構成された分岐通路と、

前記球払出通路及び前記分岐通路の境界部に対応して設けられ、遊技球を前記球払出通路に沿って流下させる払出通路開放状態と、遊技球を前記分岐通路へ導き当該分岐通路に沿って流下させる分岐通路開放状態とに切換り可能な通路切換え手段とを備え、

さらに、前記払出手段は、前記複数の払出手段の停留手段及び通路切換え手段を連動させ、前記規制状態にある前記各停留手段を同時に前記規制解除状態とともに、前記払出通路開放状態にある前記各通路切換え手段を同時に前記分岐通路開放状態とすることができるよう手動操作可能に構成された球抜き操作手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記複数の払出手段は特定配列方向に重なるように配置され、

前記各通路切換え手段及び前記球抜き操作手段は、それぞれ前記特定配列方向を軸心として回動変位して位置を切換え可能に構成されていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記複数の払出手段の各通路切換え手段は、それぞれ回動軸部を備え、当該回動軸部同士が連結可能に構成されていることを特徴とする請求項2に記載の遊技機。